

花の駅・片品 花咲の湯

Hananoeki Katashina Hanasakinoyu
(群馬県片品村)



今回紹介する温泉は、片品にある日帰り入浴施設・花咲の湯である。花咲の湯は、尾瀬登山や、片品周辺にあるスキー場からの帰路、沼田 IC へ至る国道 120 号線から県道 64 号線に入ったところにある。

フロントで支払いを済ませると、脱衣室のある下の階へ向かう。脱衣室では脱いだものは籠へ入れる。籠の数は 64 個ある。脱衣室にはロッカー（数は 10 個くらい）、洗面台 4 個もある。

脱衣室から浴室へは風除室を経由する。風除室への入口と洗面台の前には、濡れた体で浴室から脱衣室へ戻ってきた人がしずくを落として行っても良いように、すのこが敷き詰められている。よく考えられた内装だ。

風除室からは浴室と露天風呂の双方にアプローチできるようになっている。これも良く考えられた導線である。風除室では濡れた体を拭くこともできよう。

浴室には洗い場が 16 か所ある。自閉式の水栓はすぐに湯が止まるので、結構面倒である。シャンプー、ボディーソープ、コンディショナーは完備されている。

浴槽は 20 人以上は入れると思われる巨大な大きさだ。一部には気泡が出ている場所、マッサージ流が出ている場所がある。登山やスキーで疲れた足腰を、気泡やマッサージ流で癒そう。湯温は適温である。

サウナは定員 4 人ほど。室内温度は 91℃。かなり熱い。水風呂はサウナの前にあって定員 1 人。水温はそれほど冷たくはない。但し、冬になると水温は相当冷たくなる可能性がある。常連客なのだろうか、水風呂の中で仰向けに浮かんでいる人がいた。いかにも水風呂上級者である。

露天風呂は岩風呂。周辺には上州の山、森、草花が見える。定員は 15 人ほどで、湯温はぬるめである。長湯をするなら露天風呂がお勧めだ。露天風呂には洗い場も 4 か所ある。冬はともかく、夏ならこちらで体を洗う方が気持ち良いであろう。ほてった体を冷やすスペースも豊富だ。こちらも常連客なのだろうか、体を冷やしつつ、腕立て伏せをしている人がいる。よく見るとなぜかお尻の筋肉がピクピク動いているのではないかと。いろいろな楽しみ方があるものだ。

入浴後は 1 階の食堂へ。お勧めは砂肝のスモーク。ビールのおつまみに最適である。また、蕎麦は「花

咲地粉」「片品」「十割」の3種類のそばが楽しめる。味を比較してみるのも面白いであろう。

花咲の湯には特産の花豆を使った商品がある。オリジナル商品として、花豆の甘納豆はお土産に最適だ。その他、花豆のジェラートはぜひとも味わいたい逸品である。

ちなみに、花咲の湯はアルカリ性単純温泉であり、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、健康増進、病後回復期、疲労回復に効くという。

片品、川場、沼田エリアは首都圏から近く、温泉、食べ物、酒、自然、山、スキー場が豊富である。このため、これらを総合的に楽しむことが可能だ。他の温泉も機会があれば紹介していきたい。

DATA

名称	花の駅・片品 花咲の湯
所在地	群馬県利根郡片品村花咲 1113
電話	0278-20-7111
営業時間	10:00~21:00、最終受付 20:30 (4月~10月) 10:00~20:00、最終受付 19:30 (11月~3月)
定休日	第2、第4水曜日 (祝日の場合は営業)
入浴料	大人 650 円、小人 450 円 (5 時間まで) 大人 850 円、小人 650 円 (5 時間以上)
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2017 年 8 月 17 日 (木)
取材	銭湯愛好会東京支部